

## 「美術1(1年生)」資料のご活用にあたって

・本資料の配当時間数は、日本文教出版株式会社ホームページにて公開しています『題材内容資料(評価規準例)』で示している配当時間のうちの、最も長い時間数を設定しております。

・指導計画の作成にあたっては、各学校での実態に合わせて時間数をご検討ください。

・題材配列の事例に関しましては、日本文教出版株式会社ホームページの『年間指導計画例』もご参照ください。

※当該学年で取り扱う内容について、指導順序を入れ替えてもなお実施が困難となった場合、次年度において取り上げたり、類似した題材と組み合わせたりするなどの配慮が必要となります。

※また、上級学年に指導内容を送った場合には、教員間でしっかりと引継ぎをするなど十分に配慮していただくようご注意ください。

①題材名	②総ページ数	③配当時間数	④学習内容	⑤学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	⑥③の教材・学習活動の概要、配当時間数( )内 ※学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動が可能と判断した理由	⑦⑤の感染症対策の観点から、指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑧⑥の教材・学習活動の概要、配当時間数 ※感染症対策の観点から指導順序を変更すべきと判断した理由	⑨③⑤の教材に係る配当時間数を除いた、学校の授業が必要な時数
見て感じて、描く	p.8~9	4	○身近なものをよく見たり、触ったりして特徴をとらえ、主題を生み出す。 ○表したい意図に応じて色彩や表現方法、描画材料などを工夫して表現する。 ○作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。	○身近なものをよく見たり、触ったりして特徴をとらえ、主題を生み出す。 ○表したい意図に応じて色彩や表現方法、描画材料などを工夫して表現する。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・身近なものを観察することや、特徴をアイデアスケッチに描いたりノートに書きとめることは学校の授業以外の場において実施可能(0.5)	○身近なものを触る際に、感染症対策に配慮する。	※学校外で身近なものに触れる場合は検討が必要(0.5)	2.5
身近なものを立体で表そう	p.10~11	7	○対象物をよく見て、スケッチをするなどで特徴をとらえ、主題を生み出す。 ○対象物の質感に応じた素材を選択し、量感などが表れるように立体的に表現する。 ○対象物の色彩をよく観察し、様々な技法などを用いて彩色する。 ○作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。	○対象物をよく見て、スケッチをするなどで特徴をとらえ、主題を生み出す。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・事前に参考となる作品を調べたり自分の体験をもとにアイデアスケッチにまとめることは学校の授業以外の場において実施可能(1)			5.5
なぜか気になる情景	p.12~13	6	○生活の中で気になる情景を見つて、気になる理由について考え、主題を明確にする。 ○表したい主題に応じて、構図や色彩などを工夫して表現する。 ○作品を相互鑑賞し、作者が何に心をひかれたのかについて話し合う。	○生活の中で気になる情景を見つて、気になる理由について考え、主題を明確にする。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・気になる情景を見つけて自分なりに考えたりまとめたりすることは学校の授業以外の場において実施可能(0.5)			5
心に残ったできごと	p.14~15	8	○体験や、景色など心に残っているできごとについて思いをめぐらせ、主題を生み出す。 ○主題を基に、形や色彩、表現方法の構想を練る。 ○材料や用具の生かし方を考えて、創意工夫して表現する。 ○作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。	○体験や、景色など心に残っているできごとについて思いをめぐらせ、主題を生み出す。 ○主題を基に、形や色彩、表現方法の構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・体験や、景色など心に残っているできごとについて思いをめぐらせ、自分なりに考えることは学校の授業以外の場において実施可能(1)			6.5
材料と対話して	p.16~17	6	○身近な木や石、日用品などの形や色彩、質感の特徴などから生き物などのイメージを発想し、材料の組み合わせ方などを考え構想を練る。 ○素材の特性に応じて適切な接合方法を工夫する。 ○意図に応じて彩色を工夫する。 ○作品を鑑賞し、材料の生かし方、作者の意図や工夫について話し合う。	○身近な木や石、日用品などの形や色彩、質感の特徴などから生き物などのイメージを発想し、材料の組み合わせ方などを考え構想を練る。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・事前に参考となる作品を調べたり自分の体験をもとにアイデアスケッチにまとめることは学校の授業以外の場において実施可能(1)	○身近な木や石、日用品などの材料に対して感染症対策に配慮する。	※学校外での材料に触れる場合は検討が必要(0.5)	4
私が見つけた物語	p.20~21	2	○描かれている事物や人、構図や色使いなど、事実として共通に認識できるものについて意見を出し合う。 ○絵のイメージや人物、背景などから、作者の意図や表現の工夫などについて述べ合い、自分としての考えをもつ。	○絵のイメージや人物、背景などから、作者の意図や表現の工夫などについて述べ合い、自分としての考えをもつ。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5)			1.5
身近な人を見つめて	p.22~23	7	○その人らしさが表れる表情やポーズ、しぐさなどを考えてスケッチするなどして主題を生み出す。 ○スケッチを基に、構図や色彩、ポーズを工夫して構想を練り、絵や立体で表す。 ○できあがった作品を鑑賞し、そこから感じ取れる作者の心情や意図、表現の工夫などについて話し合う。	○その人らしさが表れる表情やポーズ、しぐさなどを考えてスケッチするなどして主題を生み出す。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・表情やポーズ、しぐさなどを考えて自分なりにスケッチするなどには学校の授業以外の場において実施可能(1)			5.5
花の生命	p.24~29	2	○それぞれの作品から受ける印象、考えたことについて感想を書く。 ○グループや全体で話し合い、作者の意図や表現の工夫、各自が感じた思いの違いについて考えを深める。	○それぞれの作品から受ける印象、考えたことについて感想を書く。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・自分なりに感想を書くことは、学校の授業以外の場において実施可能(0.5)			1
刷って出会う美しさ	p.30~31	8	○版表現を用いた作品を鑑賞し、版で表す効果や技法による表現の違いなどを感じ取る。 ○対象から感じ取ったことや想像したことなどを基に、版の特徴を考えながら主題を生み出す。 ○主題が効果的に表れるよう、版表現の特徴を生かして構想を練る。 ○用具や技法などを活用し、制作の見通しをもって効果的に表現する。 ○相互に作品を鑑賞し、よさや美しさについて話し合う。	○版表現を用いた作品を鑑賞し、版で表す効果や技法による表現の違いなどを感じ取る。	・版で表す効果や技法による表現の違いなど着目して、事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(1)			7

①題材名	②総ページ数	③配当時間数	④学習内容	⑤学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	⑥③の教材・学習活動の概要、配当時間数( )内 ※学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動が可能と判断した理由	⑦⑤の教材・学習活動の概要、配当時間数 ※感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑧⑤の教材・学習活動の概要、配当時間数 ※感染症対策の観点から指導順序を変更すべきと判断した理由	⑨③⑤の教材に係る配当時数を除いた、学校の授業が必要な時数
デザインの扉を開こう	p.32～33	2	○デザイナーのインタビューを読み、デザインに対する自分の思いや考えについて話し合う。 ○身近にあるデザインされたものを持ち寄り、よさや美しさ、使いやすさ、作者の思いなどについて意見を述べ合い、理解を深める。	○デザイナーのインタビューを読み、デザインに対する自分の思いや考えについて書きとめる。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・デザイナーのインタビューを読み、デザインに対する自分の思いや考えについて書きとめることは学校の授業以外の場において実施可能(0.5)			1
美しい構成と装飾	p.34～35	6	○目的や条件を基に自分のテーマを考える。 ○スケッチなどにより形の特徴をとらえ、単純化するなどして構成を考える。 ○効果を考えながら彩色をする。 ○作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。	○目的や条件を基に自分のテーマを考える。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・目的や条件を基に自分のテーマを考えることは学校の授業以外の場において実施可能(0.5)			5
楽しく伝える 文字のデザイン	p.36～37	6	○身近にあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違いについて考える。 ○伝えたい内容を基に、文字の形や色彩の効果を考えてデザインする。 ○作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。	○作品を鑑賞する。 ○身近にあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違いについて考える。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・身近にあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違いについて考えることは学校の授業以外の場において実施可能(1)			4.5
記憶に残るシンボルマーク	p.38～39	6	○身の回りにあるマークについて調べ、形や色彩から受ける印象について考える。 ○伝えたい内容について、イメージが伝わるように、形や色彩を工夫して構想を練る。 ○表現方法や描画材料を工夫し、見直しをもって制作する。 ○作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。	○身の回りにあるマークについて調べ、形や色彩から受ける印象について考える。	・身の回りにあるマークについて調べ、形や色彩から受ける印象について考えることは学校の授業以外の場において実施可能。(1)			5
一枚の紙から広がる世界	p.40～41	5	○紙を折ったり、切ったり、組み合わせた中から、美しい形を見出す。 ○目的や条件を基に美しい構成などを考え、紙の特性を生かして制作する。 ○作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。	○作品を鑑賞し、紙を加工することで起きる効果に関心を持つ。	紙を加工することで起きる効果に着目して、事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5)			4.5
私の気持ちをカードに込めて	p.42～43	6	○伝えたいことが相手の心に届くよう、形や色彩、カードの仕組みなどを考える。 ○紙や用具の特性を生かして、カードの仕組みや表現方法を工夫し、見直しをもって制作する。 ○カードのよさや飛び出す仕組みの生かし方などについて話し合う。	○伝えたいことが相手の心に届くよう、形や色彩、カードの仕組みなどを考える。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・形や色彩、カードの仕組みなどを考えることは学校の授業以外の場において実施可能(0.5)			5
使いたくなる焼き物をつくらう	p.44～45	8	○身近な焼き物からその用途や機能性について考える。 ○使う目的や機能、美しさなどから形を考える。 ○土の特性を生かしながら、つくりたいものに合った技法で制作する。 ○実際に料理などをのせた写真を使って事後レポートを作成し、よさや工夫について話し合う。	○作品を鑑賞し、身近な焼き物から使う目的や機能、美しさなどから形を考える。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・身近な焼き物でその用途や機能性、これは学校の授業以外の場において実施可能(0.5)			7
暮らしに息づく木の命	p.46～47	6	○木という材料の温かさや木肌の美しさを味わう。 ○使いやすさと美しさを兼ね備えたデザインを構想する。 ○木の特性を理解して、加工方法や用具などを適切に考えて制作する。 ○互いの作品のよさや工夫を感じ取るとともに、日本で古くから建築や家具、食器など様々なものに木が使われてきた経緯などを調べ、話し合う。	○作品を鑑賞し、木という材料に関心を持ち、使いやすさと美しさを兼ね備えたデザインを構想する。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・木という材料に着目し、使いやすさと美しさを兼ね備えたデザインの大きな構想を考えることは学校の授業以外の場において実施可能(0.5)			5
伝統の中の動物たち	p.48～49	3	○日本各地域やアジアの国に伝わる祭りの中の動物を基にした装束を鑑賞し、それぞれの特徴や違い、関連性などについて話し合う。 ○住んでいる地域の獅子舞や伝統の装束などを調べ、文化の違いや共通点について意見を述べ合い、考えを深める。	○日本各地域やアジアの国に伝わる祭りの中の動物を基にした装束を鑑賞し、それぞれの特徴や違い、関連性などについて考えたり、書きとめる。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞しておくことは学校の授業以外の場において実施可能(0.5) ・特徴や違い、関連性などについて考えたり、書きとめることは学校の授業以外の場において実施可能(0.5)			2